
パルの冒険

岡谷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パルの冒険

【コード】

N2207F

【作者名】

岡谷

【あらすじ】

お母さんと仲良く暮らしていたパル。しかし、ある日、お母さんが倒れてしまい・・・。

地球ではないどこか遠い星にパルという少年が住んでいました。

赤ちゃんのお父さんをお亡くしたパルはお母さんと二人きりで静かに暮らしていました。

パルは九才の子供ながらよく働きました。薪を割り、川から水を運び、森へ行き木の実や果物を取りに行ったり、パルは大好きなお母さんのために頑張りました。

そんなある日、パルに思いもよらぬことが起こりました。

その日もパルは木の実を採りに森へと出かけていました。そして、辺りはだんだんと暗くなり、そろそろ家に帰ろうかという時でした。

「パルく〜ん」

遠くから誰かがパルを呼んでいました。

「お〜い、パルく〜ん」

その声はだんだん大きくなり、それと同時にその人物の姿もだんだんと見えてきました。

「あつ、パルくん、いたいた」

それはダイナでした。ダイナはお母さんの昔からの友達でパルも赤ちゃんのころから面倒をみてもらっていました。

「ダイナさん。どうしたんですか？」

パルはダイナに尋ねました。

「パル君、大変なの！アトラスが倒れたの！」

「えっ！お母さんが？」

「今、お医者さんを家に呼んでいるわ！パル君も早く家に戻って！」
「わ、わかりました」

こうしてパルはダイナと一緒に急いで家へと戻りました。

家に着くとすでにお医者さんは来ていました。そして、さっそく

お母さんの診察を始めました。

「お母さん・・・」

診察中、パルはずっとお母さんの手を握りしめていました。

そして三十分後。やっと診察は終わりました。

「先生！アトラスは大丈夫なんですか？」

ダイナはお医者さんに言いました。

「・・・残念ですけどアトラスさんはコンバーション・シックという病気にかかってしまったようです」

「コンバーション・シック？それはどういう病気なんですか？」

お医者さんはゆっくりとその病気の説明を始めました。

「コンバーション・シックとはとても珍しい病気なんです。原因はいまだに不明だし、はっきりとした治療法もありません。とても謎の多い病気です。しかし、わかっていることが二つだけあるんです。まず一つ目は、

この病気になってしまった人は約一年で死んでしまう」

「そんな！」

パルとダイナが同時にそう叫びました。それに対してお医者さんはこう言いました。

「心配しないでください。病気を治す方法はあるんです。それが二つ目です」

「でも今、治療法はないって」

ダイナはよくわからないといった顔でそう言いました。

「それは医療的な治療法がないだけです」

「それじゃ、どうしたらお母さんは助かるんですか？」

「感動を与えるのです」

お医者さんはやさしい顔をして言いました。

「感動を与えれば不思議と病気は治るのです。今までそれで何人も人が助かってきました。たぶんあと三時間後ぐらいにアトラスさんは目を覚ますでしょう。目を覚ましたらアトラスさんをとにかく感動させてください。わかりましたね」

お医者さんはそう言っただけで帰って行きました。

お医者さんが帰ったあとパルとダイナは二人で話し合いました。

「ダイナさん、どうやったからお母さんを感動させられるんでしょう？」

「ん〜、感動か〜。・・・あつ、そういうえばこの前、子供の頃の思い出話を話していたときにアトラスがこんなことを言っていたわ」

「どんなことですか？」

「子供のときに食べた『フラワーアップル』という果物がとてもおいしくて今でもその味が忘れられないと」

「フラワーアップル？」

初めて聞く名前の果物だったのでパルは首をかしげました。

「そう。たしかプレザント地方に旅行に行ったときに食べたらしいの。だからそれを食べさせればもしかしたら感動するかもしれないわ」

「じゃあボク、今からそれを見つけてきます」

「今からって。それにパル君一人で？」

「はい。お母さんに言ったらきつと止められると思うんです。だからお母さんが目を覚ます前に出かけます。ダイナさんはお母さんの看病をお願いします」

パルは真剣な顔をして言いました。

「それはいいけど、プレザント地方っていったら、ここからだとかの距離があるわよ。途中、たくさん山を越えないとだし」

「お母さんのためなら大丈夫です」

パルはキツパリと言いきりました。

「・・・わかったわ。じゃあ少し待ってて」

そう言うとダイナはどこかに行ってしまうました。そして、十五分後。

「おまたせパル君。これを持って行きなさい。必要なものは全部入っているわ」

そう言ってダイナはパルにリュックを手渡しました。

「ダイナさん。ありがとうございます」

「いいのよ。それよりもパル君、気をつけて行ってくるのよ。絶対に無茶はしないでね」

「わかっています。．．．．それじゃあ行ってきます」

こうしてパルはお母さんを助けるためにフラワーアップルを探す旅へと出かけたのでした。しかし、この旅はパルの想像をはるかに超えるとても大変な旅となりました。

どこまでも続く大砂漠。猛獣が住みつく深い森。激流の流れる大きな川。そして、身の凍るような吹雪が吹きつける巨大な雪山。ようやく念願のフラワーアップルを見つけた時にはすでに半年の時が過ぎていました。早く家へと戻らなくてはもう時間がありません。だが、すでにパルの体力は限界に近づいていました。

「早く、早く戻らないと．．．．お母さん、待っててね」

しかし、パルはお母さんを助けるために必死に歩き続けました。靴はボロボロになり、体のあちこちに痛みが走ります。それでもパルはひたすらに歩き続けました。

ところがそんなパルに最悪の事態が起こったのです。なんとフラワーアップルが腐ってしまったのです。もう戻っている時間もありません。そのことを知ったパルは急に体の力が抜け、ついに地面に倒れてしまいました。

「．．．．お母さん、ごめんね．．．．ボク、お母さんを助けてあげられなかったよ．．．．ごめんね、ごめんね」

パルは泣きながら何度も謝り続けました。

どのくらい時間がたったのでしょうか。パルは誰かに呼ばれて目を覚ましました。

「．．．く〜ん」

パルはぼんやりとした頭のなかで声のするほうを見つめました。

「・・・おい、パルクくん」

それはなんだか聞き覚えのある懐かしい声でした。

「パルクくん、パルクくん！」

なんとそれはダイナでした。

「パルクくん、大丈夫？しつかりして」

「・・・ダ、ダイナ、さん」

「そうよ、私よ。ほら、アトラスも一緒よ」

パルはそこで初めてダイナの隣にもう一人誰かいることに気が付きました。

「パル。大丈夫？私よ。お母さんよ」

それは紛れもなくパルのお母さんでした。

「・・・お母さん、な、なんで・・・病気は？」

「病気はもう治ったのよ。パル、あなたのおかげよ」

「なんで？・・・ボクは、ボクは、なにも出来なかった・・・」

フラワーアップルだって腐らしてしまっただし・・・ボクは、ボクは「は」

涙でそれ以上言葉が出ませんでした。

「それでもあなたは私を救ってくれたわ」

「そうよ、パルクくん。アトラスはパルクくんのおかげで助かったのよ」

「なんで・・・ボ、ボクは・・・なにも出来なかった」

「私のためにフラワーアップルを探しに出かけてくれたじゃない。」

そのことに私は感動したのよ。ありがとう、パル。初めての旅は大変だったでしょ？」

「・・・お母さ〜ん！」

パルはたまらずにお母さんに抱きつきました。久し振りの母の温もりはとても温かいものでした。

「パル、あなたは本当に頑張ったわ。本当にありがとうね」

お母さんの目からも涙がこぼれました。

「良かったわね、パルクくん」

そして、ダイナも目からも・・・。

それから三人はなかよく故郷へと戻りました。そして、パルとお母さんはいつまでも幸せに暮らしました。

【おしまい】

*

(なんで俺こんな時にこんなもの読んでいるんだろう?)

そう思いながら男は、子供の頃によく読んでいた「パルの冒険」という絵本を引き出しの中に戻した。

(なんかテンション下がっちゃったな。・・・そうだ。久し振りにお袋に電話でもしてみるか)

そんなことを考えながら男は天井から垂れさがったロープを解き始めた。

(完)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2207f/>

パルの冒険

2010年10月27日10時04分発行